

(別添資料1)

事業所名

府中市子ども発達支援センター

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

28日

法人（事業所）理念		「府中市子ども発達支援センター 児童発達支援事業（通称すてつぷ）」では、発達に遅れや偏りがある就学前のお子さんを対象に、集団療育を柱として、心身の発達を促し、人と関わる力、生きる力を育むことを基本としています。									
支援方針		○遊びの中で、一人ひとりが楽しい時間をもてること、人と関わることの楽しさや心地よさを感じることを大切にします。個々の発達に応じたスモールステップで成功体験を重ね、幼児期に大切な自信・自尊心・自己肯定感を育みます。 ○特性に配慮した提示方法、環境を用いて発達を促します。 ○毎日通い、繰り返し丁寧に積み重ね、発達を支援します。 ○家庭と協力して、日常生活の基本的生活習慣を身に付けます。									
営業時間		9 時 00 分から 15 時 00 分まで						送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	生活の中でルーティンとして日々積み重ねることで身の回りの動作を身につける。健康状態や生活リズムを整える。 ＜設定遊び※1、体操、給食、トイレ、身支度、着替え、散歩、健康診断、歯科健診、看護師による視診＞									
	運動・感覚	楽しく身体を動かし、姿勢の保持や運動機能の発達を促す。触覚・視覚・聴覚・前庭覚・固有覚の様々な感覚で十分に感じ、要求される感覚を満たして感覚の統合を促す。 ＜運動：滑り台、平均台、梯子、大玉、トンネル、洗濯ばさみ、紐通しなど＞ ＜感覚：感覚統合遊具（オーシャンスイング、ホーススイングなど）、音楽、粘土、絵の具、寒天、ボールプール、水遊び、砂場など＞									
	認知・行動	認知の特性を理解したうえで、感覚の処理や認知機能の発達、行動コントロールの支援を行う。 ＜集会、簡単なルールのあるゲーム（椅子取りゲーム、ボウリングなど）、シール貼り、コイン入れなど＞									
	言語 コミュニケーション	人との関わりを楽しみ、心地よいものとして受け入れコミュニケーションの土台を作る。 ＜言葉に加え絵カードやジェスチャーなどの非言語的コミュニケーションの使用、関わり遊びなど＞ 受信や発信などのコミュニケーション方法を獲得する。 ＜アイコンタクト、クレーン、指さし、ジェスチャー、言語など＞									
	人間関係 社会性	安心して集団の中で過ごし信頼関係を築く。先生やお友達と楽しく過ごし、対人意識を育む。 ＜設定遊び、関わり遊び、手遊び、体操、製作、バルーンなど＞ 集団の中で自分らしさを認識し、気持ちや行動の調整をするための支援を行う。 ＜順番、当番、ルール、交替、協力など＞									
家族支援		保護者勉強会・保護者交流＜ペアレントプログラム、懇談会＞ 療育体験＜参加週間、参観週間、クラス体験活動、親子音楽活動＞ 面談＜家庭訪問、個別面談、発達検査、発達相談、進路相談＞ 日々のやりとり＜送迎時の情報共有、連絡帳＞						移行支援		転園時・就学時の引継ぎ、進路相談、保育所交流、東芝プレイブルーパス選手との交流	
地域支援・地域連携		子育て包括・医療機関・子ども発達支援センター総合相談・相談支援事業所・他児発達支援事業所との連携・情報共有、その他必要に応じて関係機関との連携、関係機関職員研修、関係機関巡回相談						職員の質の向上		外部研修、内部研修、OJT、ミーティング	
主な行事等		親子レクリエーション、遠足、福祉センターでのプール活動、運動会、クリスマス会、卒園式、お誕生日会、防災訓練、クラス体験活動									

※1 設定遊び…朝や食後の自由遊びですが、遊びや玩具の提供など意図をもって設定しているため「設定遊び」と呼んでいます。この時間に子ども達の様子から健康状態やコンディションの把握を行っています。